

病理医の役割

平成30年度
卒業生等のための
特別講演会

～病気の最終診断を下し、個別化医療に貢献する「病理診断」～

病理医は、病院等の医療施設の病理診断科に所属し、病変部から採取した組織（組織診）や細胞（細胞診）を顕微鏡で観察して、病気の確定診断、重症度、進行度や治療効果判定などを日常診療として行っている。的確な病理診断は、臨床医療（特に治療）やコンパニオン診断に基づく個別化医療に必須であり、最終的には、その病院の医療資質の向上と患者への良質な医療提供に関わっている。講演では、これらの病理医の業務と共に、個別化医療（特にがんゲノム医療における分子標的薬の選択に関わるコンパニオン診断）について紹介したい。

講師



やまかわ みつ の り
山川 光徳 氏

山形大学教授 医学部(病理診断学講座)
(兼: 附属病院病理部長)
専門分野: 病理診断学、樹状細胞、リンパ腫
専門医: 病理専門医、細胞診専門医

略歴

昭和56(1981)年 3月31日 山形大学医学部卒業(医学士)
昭和60(1985)年 3月31日 山形大学大学院医学研究科修了(医学博士)
昭和60(1985)年 4月 1日 山形大学医学部附属病院・医員
昭和60(1985)年12月 1日 山形大学医学部・助手
平成元(1989)年 4月 1日 山形大学・医学部講師
平成 6(1994)年 4月 1日 山形大学・講師(医学部)
平成 7(1995)年 8月 1日 山形県立日本海病院(病理部)
平成 7(1995)年11月 1日 山形大学・講師(医学部)
平成 8(1996)年 6月 1日 東京女子医科大学・助教授
平成10(1998)年11月 1日 山形大学・教授(病理診断学)

現在に至る

学会活動

所属学会: 日本病理学会・日本リンパ網内系学会・
日本臨床細胞学会・日本樹状細胞研究会など
学会評議員: 日本病理学会・日本リンパ網内系学会
学会理事長: 日本リンパ網内系学会理事長(2016-2018年)
事務局: 日本樹状細胞研究会(1990-2018年)
雑誌編集・査読委員:
Histology & Histopathology (1998-)
Journal of Clinical & Experimental Hematopathology (2001-)(2005-2016編集長)
Pathology International (2005-)
World Journal of Gastroenterology (2010-)
ISRN Pathology (2011-)
World Journal of Gastrointestinal Pathophysiology (2011-)

日時

2018年
12月1日 土
13:45~14:45

場所

グランパーク
302+303会議室

住所: 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークプラザ棟3階
(JR田町駅から徒歩5分) ☎03-5441-2100



※本講演会は「卒業生等首都圏ネットワーク」の事業として実施するものです。山形大学の卒業生はどなたでも無料で参加することができます。
なお、本講演会への参加は、各同窓会支部等を通じて校友会事務局にお申し込みください。